

空幕厚第63号（51）例規
60．3．18

変更：平成3年9月20日 空幕厚第181号
平成5年12月2日 空幕厚第257号
令和元年6月27日 空幕総第247号

全部隊長
全機関の長 殿

航空幕僚長

特別弔慰金及び賞じゅつ金の事務処理要領について（通達）

標記について、別紙のとおり定めたので、これにより実施されたい。

なお、特別弔慰金等の上申手続について（通達）（空幕発厚第141号38．5．1）
は、廃止する。

添付書類：別紙「特別弔慰金及び賞じゅつ金の事務処理要領」

特別弔慰金及び賞じゅつ金の事務処理要領

1 趣旨

この要領は、特別弔慰金に関する訓令（昭和33年防衛庁訓令第33号。以下「特別弔慰金訓令」という。）第2条及び賞じゅつ金に関する訓令（昭和38年防衛庁訓令第15号。以下「賞じゅつ金訓令」という。）第2条の規定により、隊員又はその遺族に授与される特別弔慰金及び賞じゅつ金に係る上申等の事務処理に関して必要な事項を定めるものとする。

2 発生通知

部隊等（編制部隊並びに独立して所在する編制単位群部隊及び編制単位部隊並びに機関及び地方機関並びに航空幕僚監部をいう。以下同じ。）の長は、当該部隊等に所属する隊員が特別弔慰金訓令第2条第1項又は賞じゅつ金訓令第2条第1項から第3項までに規定する職務を遂行し、そのため死亡し、又は障害の状態（賞じゅつ金訓令第3条に規定する障害の程度をいう。以下同じ。）となった場合、死亡又は障害の原因が当該隊員の故意又は重大な過失に基づいて発生したものでないと認められるときは、航空自衛隊災害補償実施細則（昭和42年航空自衛隊達第12号。以下「細則」という。）第2条第4号に規定する基地業務担当部隊等の長に通知するものとする。この場合、付表に掲げる書類を5部添付するものとする。

3 上申手続等

基地業務担当部隊等の長は、前項の通知を受けた場合には、当該隊員が特別弔慰金訓令第2条又は賞じゅつ金訓令第2条に該当するかどうかを調査し、該当すると認められるときは、付紙様式により航空幕僚長（厚生課長気付）に上申するものとする。この場合、前項の書類を4部添付するものとする。

4 上申期限

- (1) 死亡の場合は、基地業務担当部隊等の長が細則第6条第1項に規定する公務災害補償通知書を受理した日から原則として60日以内とする。
- (2) 障害の状態の場合は、基地業務担当部隊等の長が細則第11条に規定する補償金支給決定通知書を受理した日から原則として30日以内とする。

5 その他

細則第2条第8号に規定する航空自衛隊以外の機関等に勤務する航空自衛隊の隊員に係る特別弔慰金及び賞じゅつ金の上申は、細則別表に定める基地業務担当部隊等の長が前2項の要領により行うものとする。

特別弔慰金及び賞じゅつ金上申の添付書類一覧表

区 分 書類の名称	特別弔慰金	賞 じ ゅ つ 金				様 式	備 考
		賞じゅつ金訓令第2条第1項関連		賞じゅつ金訓令第2条第2項関連			
		死 亡	障 害 の 状 態	死 亡	障 害 の 状 態		
事 実 証 明 書	○	○	○	○	○	属紙様式第1	
現 認 証 明 書	○	○	○	○	○	同 第2	現認者2名以上
履 歴 書	○	○	○	○	○	同 第3	
功 績 調 書		○	○			同 第4	
家族生活状況調査書	○	○		○		同 第5	
診 断 書			○		○	同 第6	
死亡診断書（死体検案書）	○	○		○			
根 拠 命 令 等	○	○	○	○	○		
死 亡 報 告 書	○	○		○			} 隊員が行方不明となつた場合の死亡確認
死亡報告受理証明書	○	○		○			
飛行記録（操縦士等又は航空士等）	○			○	○		
職 位 組 織 図	○	○	○	○	○		
戸 籍 謄 本	○	○		○			死亡者が除籍されたもの
飛 行 推 定 経 路 図	○			○	○		
事 故 現 場 見 取 図	○	○	○	○	○		
事 故 現 場 写 真	○	○	○	○	○		
航 空 救 難 詳 報	○			○	○		
公務災害補償通知書	○	○	○	○	○		
補償金支給決定通知書			○		○		
その他参考資料（気象状況等）	○	○	○	○	○		

注：根拠命令等、死亡報告書、飛行記録（操縦士等又は航空士等）、公務災害補償通知書及び補償金支給決定通知書は、写しとし、原本証明をすること。

発簡番号
発簡年月日

殿

発簡者名

印

特別弔慰金の授与について（上申）

標記について、下記のとおり上申する。

記

- 1 災害を受けた隊員の所属、階級、氏名及び生年月日
- 2 災害発生日時及び場所
- 3 傷病等名、傷病の部位及びその程度
- 4 災害の概要
- 5 上申理由
- 6 被授与資格者の住所、氏名及び続柄

添付書類：

配布区分：

記 入 要 領

- 1 この上申書は、特別弔慰金及び賞じゅつ金の上申に用いるものとし、賞じゅつ金として上申する場合には、「特別弔慰金」を「賞じゅつ金」と書き替える。

- 2 「災害を受けた隊員の所属、階級、氏名及び生年月日」は、次の例のように記入すること。

例

死亡の場合－第○航空団

故 3 等空佐（特別昇任）^{ふりがな}○○○○ 昭和○○年○○月○○日生

障害の状態－第○航空団（災害発生時第○術科学校）

の場合

空曹長（受傷時 1 等空曹）^{ふりがな}○○○○ 昭和○○年○○月○○日生

- 3 「災害発生日時及び場所」は、次の例のように記入すること。

例

昭和○○年○○月○○日（○曜日）○○時○○分ころ

(1) ○○県○○市（郡）○○町（村）○○番地

(2) ○○県○○市（郡）○○飛行場から東方約○○キロメートルの○○海洋上

- 4 「傷病等名、傷病の部位及びその程度」は、次の例のように記入すること。

例

死亡の場合－災害死、航空事故による全身打撲及び内臓破裂（即死）

障害の状態－頸髄損傷、頸部の著しい運動障害（第 6 級）

の場合

- 5 「上申理由」は、次の例のように記入すること。

例

(根拠命令等) (職務内容) (事故の内容)

この災害は、○○○○○○に基づき、○○○○（実施、従事、参加）中、○○○○により発生したものであり、特別弔慰金（賞じゅつ金）に関する訓令（昭和○○年防衛庁訓令第○○号）第○条第○項（号）に該当する。

事 実 証 明 書

- 1 災害を受けた隊員の所属、階級、氏名及び生年月日
- 2 災害発生日時及び場所
- 3 傷病等名及び傷病の部位及びその程度
- 4 災害発生の状況等
 - (1) 通常の任務
 - (2) 災害に係る任務と命令（計画）との関係
 - (3) 災害の状況
- 5 当該隊員の重大な過失等の有無

上記の事項は、事実と相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

(部隊等の長)

官職 氏名

㊞

記 入 要 領 等

- 1 「災害を受けた隊員の所属、階級、氏名及び生年月日」は、次の例のように記入すること。

例

死亡の場合－第○航空団飛行群第○○○飛行隊

故 2 等空佐（特別昇任）○○○○昭和○○年○○月○○日生

障害の状態－第○航空団整備補給群補給隊（受傷時第○術科学校）

の場合 3 等空曹（受傷時空士長）○○○○昭和○○年○○月○○日生

- 2 「災害発生日時及び場所」は、次の例のように記入すること。

例

昭和○○年○○月○○日（○曜日）○○時○○分ころ

(1) ○○県○○市（郡）○○町（村）○○番地

(2) ○○県○○市（郡）○○町（村）○○山の山中

- 3 「傷病等名、傷病の部位及びその程度」は、次の例のように記入すること。

例

死亡の場合－災害死、航空事故による頭蓋骨骨折及び脳挫傷（即死）

障害の状態－左大腿骨及び腓骨粉碎骨折、左大腿部の下部切断
の場合

- 4 「災害発生の状況等」中の「災害の状況」は、詳細に記入するとともに、航空自衛隊用語集等の用語（略語を含む。）を使用する場合には、その意味等を（ ）書きで記入すること。

- 5 「当該隊員の重大な過失等の有無」は、事故原因等を調査の上、当該隊員に故意又は重大な過失がなく、漫然と事故防止を怠って事故を発生させたものでない旨を要点として記入すること。

- 6 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とし、縦長に使用すること。

現 認 証 明 書

- 1 災害発生日時及び場所
- 2 災害を受けた隊員の所属、階級及び氏名
- 3 災害の概要

上記のとおり現認したことを証明する。

令和 年 月 日

証明者の住所

氏名

印

記 入 要 領 等

- 1 この証明書は、事故を目撃し、又は事故現場を確認した部内者若しくは部外者から証明を受けるものとし、現認者別に作成すること。
- 2 「災害発生日時及び場所」及び「災害を受けた隊員の所属、階級及び氏名」は、事実証明書の記入例に準じて記入すること。
- 3 「災害の概要」は、事実証明書等と著しく相違しないように記入すること。
- 4 「証明者の住所」及び「氏名」は、証明する者が部内者のときは「住所」を「所属」に、「氏名」を「階級及び氏名」に書き替えて、所属、階級及び氏名を記入すること。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用すること。

履歴書			
ふりがな 氏 名		生 年 月 日	
ふりがな 旧 氏 名		改姓年月日	
本 籍 地			
現 住 所			
年 月 日	履 歴 事 項	官 公 庁 名	

		氏 名	
年 月 日	履 歴 事 項		官 公 庁 名

注：用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。

記 入 要 領 等

- 1 「^{ふりがな}氏名」、^{ふりがな}「旧氏名（改氏名の場合）」及び「本籍地」の欄は、戸籍に記載されている文字を正確に記入すること。
- 2 「現住所」の欄は、住民登録している住所を正確に記入すること。
- 3 「年月日」の欄は、「昭和〇〇．〇〇．〇〇」と最初の行に年号を記入し、2行目以降は、「同〇〇．〇〇．〇〇」と記入すること。ただし、ページを改めたときの最初の年月日は、「昭和〇〇．〇〇．〇〇」と記入すること。
- 4 「履歴事項」の欄は、最初の行に最終学歴を「□〇〇高等学校卒業」というように記入し、各履歴は、次のように記入すること。
 - (1) 任免、官制官等の改正、組織の改廃及び懲戒処分に関する事項並びに叙位、叙勲及び学位に関する事項は、補職、配置指定、課程終了（入校は記入を要しない。）及び外国出張（2か月以上を基準とする。）より1字上げて記入する。
 - (2) 休職は、次の例のように記入する。

例

同〇〇．〇〇．〇	自衛隊法第43条第1号の規定により昭和〇〇年〇〇月〇日から昭和〇〇年〇〇月〇日までの間休職を命ずる	同
同〇〇．〇〇．〇	休職の期間は昭和〇〇年〇〇月〇日までとする。	同

- (3) 任用事項は、次の例のように記入する。

例

同〇〇．〇．〇〇	□航空自衛隊に入隊 2等空士に任命する。 □1号俸を給する。	防 衛 庁
同〇〇．〇〇．〇〇	2等空尉に昇任させる（特別昇任） □4号俸を給する（特別昇給）	同
同〇〇．〇〇．〇〇	殉職	同

(4) 表彰は、次の例のように記入する。

例

同〇〇. 〇〇. 〇	☐ 永年勤続（25年以上）防衛庁長官	同
同〇〇. 〇〇. 〇	☐ 第3級賞詞（職務遂行）授与	同

- 5 「官公庁名」の欄は、当該事項の発令官公庁名（警察予備隊、保安庁、防衛庁、厚生省等）を最初に記入し、次の発令官公庁が同じ場合には、「同」と記入すること。ただし、ページを改めたときの最初の発令は、官公庁名を記入すること。

功 績 調 書

1 所属

2 階級、氏名及び生年月日

3 功績の内容

☐ 上記の者は、-----

-----。

☐ -----

-----。

☐ -----

-----。

なお、本人は、-----

----- 功績により第○級賞詞を授与された。

記 入 要 領 等

- 1 この調書は、賞じゅつ金訓令第2条第1項に該当する賞じゅつ金の授与を上申する場合に作成すること。
- 2 「所属」、「階級、氏名及び生年月日」は、事実証明書の記入例に準じて記入すること。
ふりがな
- 3 「功績の内容」は、災害を受けた隊員の主要経歴を順次記入し、その間における功績（どのような業務に従事し、その業務遂行においてどのような功績があったか）を具体的に記入すること。
特に、賞じゅつ金の授与の対象となった職務遂行における功績を詳細に記入すること。
- 4 表彰等は、功績の内容の最後に次の例のように記入すること。
例
死亡の場合—なお、本人は、昭和〇〇年〇〇月〇〇日発明考案により第〇級賞詞を、昭和〇〇年〇〇月〇〇日職務遂行の功績により第〇級賞詞を授与されたほか、生前の功績により殉職の日にさかのぼり1等空尉から3等空佐に特別昇任するとともに、職務遂行の功績により第〇級賞詞を授与された。
障害の状態の場合—なお、本人は、昭和〇〇年〇〇月〇〇日車両無事故により第〇級賞詞を授与されたほか、前記の災害派遣時における職務遂行の功績により第〇級賞詞を授与された。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用すること。

(階級) (氏名)
故〇〇〇〇 〇〇〇〇の家族生活状況調査書

1 特別弔慰金（賞じゅつ金）受給資格者

故人との続柄	氏 名	生年月日（年齢）

2 本籍地

都 道 府 県	市 区 郡	町 村	番地
------------------	-------------	--------	----

3 現住所

都 道 府 県	市 区 郡	町 村	番地
------------------	-------------	--------	----

4 家族の状況

故人との続柄	氏 名	生年月日（年齢）

氏 名

5 故人が生計維持に関して果たしてきた役割（下記事項を○印で囲む。）

- (1) 故人は、生計維持の中心人物の立場にあった。
- (2) 故人は、生計維持の中心人物の立場にはなかったが、副生計維持者として相当額の支援を果たしていた。
- (3) 故人は、それほど支援していなかったが、盆、正月等には支援していた。
- (4) 故人は、全く生計維持に関与していなかった。

6 前項第2号及び第3号に該当する場合は、故人が家族の生計維持に果たしてきた金額

	毎月の支援額	盆、正月の支援額	臨時の支援額	計
第2号の場合				
第3号の場合				

上記の調査事項は、事実と相違ないことを証明する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（部隊等の長）

官職

氏名

印

注：用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。

診 断 書

氏 名 (性 別)		(男、女)	生年月日		年齢	歳
初診年月日		令和 年 月 日				
傷 病 名						
病 歴	既往歴					
	現病歴 及び経過					
現在の症状 (障害の程度、機能障害の状況)						
治癒年月日		令和 年 月 日				
上記のとおり診断します。 令和 年 月 日 医師又は歯科医師（医官） 住所（所属） 氏名 印						

注：用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。